

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	10	03	03	104300	湯口中学校校舎改築事業費		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-2 学校教育の充実					
	施策	4 教育環境の充実					
目的	学校施設の環境整備						
対象	湯口中学校施設						
意図	学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を提供する。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○湯口中学校校舎等改築 25年度～ 用地・現況測量、基本設計(H25→26繰越) 26年度～ 地質調査、実施設計(H26→27繰越)、屋外環境整備実施設計 27年度～ 校舎一部解体(H26→27繰越)、校舎改築Ⅰ期(H26→27繰越) 28年度～ 校舎改築Ⅱ期、校舎・屋体解体、屋体改築(H29まで)、備品購入 29年度～ 柔剣道場解体、屋外環境整備、クラブハウス、自転車置場、屋外トイレ改築、駐車場整備							
市民参画の有無 [ 有 関係団体等からの意見聴取 ]							
市民協働の形態		共催		○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
① 実施設計進捗率	%		計画	75.0	100.0		
			実績	75.0	100.0		
② 湯口中学校改築事業進捗率	%		計画	40.0	77.0		
			実績	33.0	76.0		
③			計画				
			実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
① 耐震改修済中学校数	校		目標	11	11		
			実績	9	9		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
文部科学省では、平成27年度末までに全ての学校施設の耐震化を完了することを目標にしており、各自治体もその目的達成を求められているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・学校の設置については、教育基本法に基づき市が設置者となり行うものである。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市内全学校施設を耐震化するため計画的な改築を行っている。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・シンプルな構造を基本にしながら学校施設としての機能を確保することとし、事業費の削減に取り組んでいる。 ・大型の新規追加事業であり人員の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・学校施設の改築については、市が主体的に行うものである。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
当初から改築することを前提にしており、それに伴い、大規模な修繕等を実施してこなかったことから、早期に改築を進める。また、生徒数の減少が今後進んでいくことを踏まえ、将来を見越した施設規模とするものである。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	03	03	104300	湯口中学校校舎改築事業費

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		609,769	839,370		229,601
財源内訳	国・県	98,791	150,833		52,042
	地方債	490,100	617,700		127,600
	その他				
	一般財源	20,878			

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 29 年度]
------	-------	------	-----------------------

部重点施策における目標  
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯  
湯口中学校は、昭和44年から昭和47年にかけて建築された学校であり建築後44年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要  
○湯口中学校校舎等改築  
25年度～ 用地・現況測量、基本設計(H25→26繰越)  
26年度～ 地質調査、実施設計(H26→27繰越)、屋外環境整備実施設計  
27年度～ 校舎一部解体(H26→27繰越)、校舎改築Ⅰ期(H26→27繰越)  
28年度～ 校舎改築Ⅱ期、校舎・屋体解体、屋体改築(H29まで)、備品購入  
29年度～ 柔剣道場解体、屋外環境整備、クラブハウス、自転車置場、屋外トイレ改築、駐車場整備

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
・同一敷地内で改築を行うことから、学校活動に配慮しながら事業を進める必要がある。  
・学校施設として使用しなくなった場合に、他の用途に改修しやすい構造に配慮する。

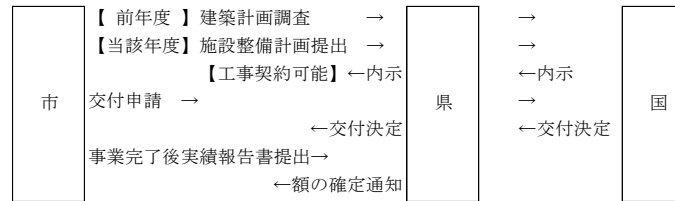
担当部署 部名 教育部 課名 教育企画課 担当係長 白藤 清和 内線 9-30-322 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

湯口中学校校舎改築事業

●事業概要  
校舎：RC造2階建 2,823㎡ / 建築単価見込≒294,909円/㎡  
屋体：RC造一部S造1階建 1,581㎡ / 建築単価見込≒362,808円/㎡

●財源  
★環境改善交付金(危険改築)事業 補助基準額×1/3、合併特例債95%



●事業費見込み

項目	H25	H26	H27(H26繰越)	H28	H29	H25-H29(計)
現況測量・用地測量	5,005					5,005
基本設計(H25繰越明許)	17,280					17,280
地質調査		4,231				4,231
実施設計(H26繰越明許)		59,210				59,210
屋外環境実施設計		3,996				3,996
補助監理			13,155	16,546	7,300	37,001
解体工事			35,631	111,829	12,204	159,664
敷地造成工事					13,000	13,000
校舎改築工事			499,517	329,857		829,374
屋内運動場改築工事				341,435	229,440	570,875
自転車置場整備工事					14,000	14,000
屋外環境整備工事					87,000	87,000
クラブハウス改築工事					30,000	30,000
屋外トイレ改築工事					7,000	7,000
駐車場等整備工事					25,000	25,000
屋外照明設置工事					21,000	21,000
学校・体育備品整備				33,771		33,771
建築確認等手数料(H26繰越明許)		762		170	160	1,092
備品等移設業務			1,584	2,126	500	4,210
その他			5,938	3,636	3,225	12,799
合計	22,285	68,199	555,825	839,370	449,829	1,935,508
国庫			93,745	150,883	75,177	319,805
起債(地方債)		39,500	455,500	617,700	256,900	1,369,600
一般財源	22,285	28,699	6,580	70,787	117,752	246,103
※国庫：基本設計分 H26繰越明許			5,760			5,760